業務名（業務コード）	貨物取扱確認登録（改装・仕分）（ＣＦＳ０１）																					
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件													コード	入力条件／形式
1		入力共通項目		an	398			M														
2		取扱確認変更表示	CFM	an	1			C														貨物取扱で改装・仕分したものと、実際の取扱確認とが異なっている場合は、「Ｙ」を入力
3		増加仕分数	SWS	n	3			C														（１）仕分数に増分がある場合に入力 （２）情報仕分けの場合は、入力不可 （３）増加仕分数が登録されている場合 ①入力が省略された場合は、登録されている増加仕分数を処理対象とする ②入力された場合は、登録されている増加仕分数と等しいこと
4		ＡＷＢ番号（仕分け親）	AWM	an	20			M														
5	8	追加表示（仕分け子）	ADD	an	1			C														（１）ＣＨＳ業務で仕分けた仕分け子の場合は、スペースであること （２）増加分の仕分け子の場合は、「＊」を入力 （３）情報仕分けの場合は、入力不可
6	＊	仕分け子枝番	EDA	n	3				C													（１）取扱確認した貨物の仕分け子枝番を入力 （２）増加分の仕分け子の場合は、入力不可 （３）以下の形式で入力 ９９９
7	＊	個数（仕分け子）	PSA	n	6				M													情報仕分けの場合は、ＣＨＳ業務で入力された個数と等しいこと。
8	＊	重量（仕分け子）	WTA	n	8				M													整数部６桁、小数部1桁
9	＊	品名（仕分け子）	CMA	an	21				M													
10	＊	事故貨物（仕分け子）	DMA	an	5				C												事故コード	
11	＊	手作業記号（仕分け子）	MSA	an	1				C													（１）ロケーションの手作業管理の場合は、「Ｍ」を入力 （２）取扱場所が他所蔵置場所の場合は、入力不可
12	＊	終了表示（仕分け子）	END	an	1				C													（１）ＣＨＳ業務により仕分けられた数より、実際の仕分数が少なかった場合は、仕分けをした最後の貨物の次欄に「Ｅ」を入力（「Ｅ」を入力した欄以降は仕分け実施処理対象外となる） （２）情報仕分けの場合は、先頭欄に入力不可
13	＊	ロケーション（仕分け子）	LOA	an	80				C													（１）以下の形式で入力 ロケーション、符号「，」、個数 例）ＡＢＣ，個数 ①ロケーション：３桁以上の英数字 ②個数：６桁以内の数字 ③単独ロケーション入力の場合、個数は省略可 ④複数ロケーション入力の場合、ロケーションと個数は対となっていること ⑤ロケーションと個数は「，」で区切ること （２）特殊貨物ロケーションコード（保管料対象）の場合 ロケーション（３桁）、符号「，」、個数 例）ＶＡＬ（個数の省略可） ＶＡＬ，個数（複数ロケーション入力可） ＶＡＬ／ＡＢＣＤ，個数（「／」以降は自由入力） （３）ＳＰ貨物の場合は、先頭２桁に″ＳＰ″を入力 例）ＳＰＸ（３桁で入力） （４）特殊貨物ロケーションコードは、５種類以内であること （５）スプリット貨物の場合、保税蔵置場単位のロケーション桁数の合計が８０桁以下であること。 （６）取扱場所が他所蔵置場所の場合は、入力不可 （７）？を入力した場合は、上位欄のロケーション（仕分け子）を引き継ぐ （８）？を入力した場合は、上位欄に入力されたロケーションは単独ロケーションであること